

平成27年度  
全国学力・学習状況調査結果について

平成27年9月17日(木)  
山口県教育庁義務教育課

## 目 次

1 教科に関する結果	P 1
① 全体の結果	P 1
② 各教科の結果	P 1
③ 具体的な問題と解答状況	P 17
2 質問紙調査の結果	P 50
① 授業づくりに関する児童生徒質問紙と学校質問紙との関連設問	P 50
② 児童生徒質問紙	P 62
③ 学校質問紙	P 76
④ 理科の指導に関すること	P 85

### 《平成27年度全国学力・学習状況調査の概要》

- 目的
- ・義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
  - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
  - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 調査期日 平成27年4月21日(火)
- 調査方式 悉皆調査
- 実施学校数・児童生徒数(山口県)
- 【小学校6年】公立小学校293校、特別支援学校3校 11,540人
- 【中学校3年】公立中学校150校、中等教育学校1校、特別支援学校5校 11,331人
- 調査内容
- ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
    - ・問題A:主として「知識」に関する問題
    - ・問題B:主として「活用」に関する問題
    - ※理科は「知識」と「活用」を一体的に出題
  - ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
    - ・児童生徒に対する調査
    - ・学校に対する調査

## 平成27年度全国学力・学習状況調査結果について

### 1 教科に関する結果

#### ① 全体の結果

平均正答率を山口県と全国とで比べると、小学校は、国語、算数のA・B、理科の全区分で全国平均を上回る結果である。中学校は、国語、数学のA・Bの全区分で全国平均を上回り、理科は全国平均と同じである。

#### ② 各教科の結果

##### ア 全国の平均正答数、平均正答率との比較

##### 【小学校】

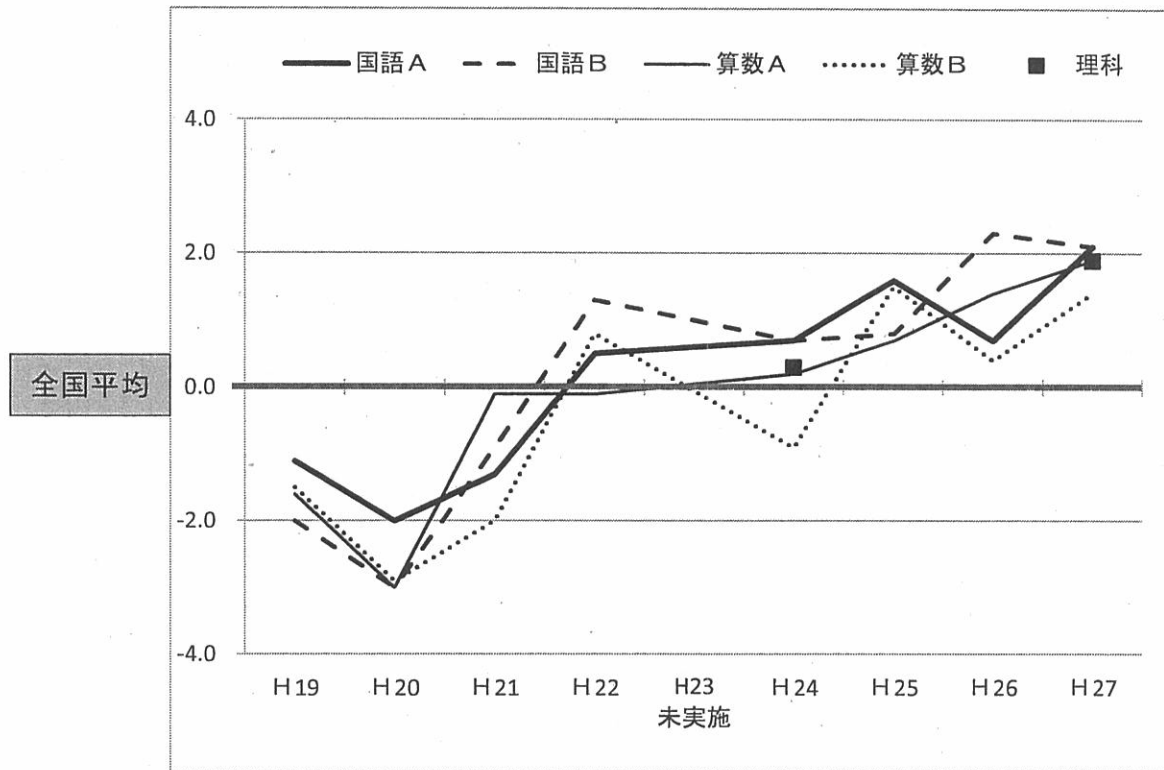
	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)		
	山口県	全 国	山口県	全 国	全国との比較
国語A	10.1/14	9.8/14	72.1	70.0	+2.1
国語B	6.1/9	5.9/9	67.5	65.4	+2.1
算数A	12.3/16	12.0/16	77.1	75.2	+1.9
算数B	6.0/13	5.9/13	46.4	45.0	+1.4
理 科	15.0/24	14.6/24	62.7	60.8	+1.9

##### 【中学校】

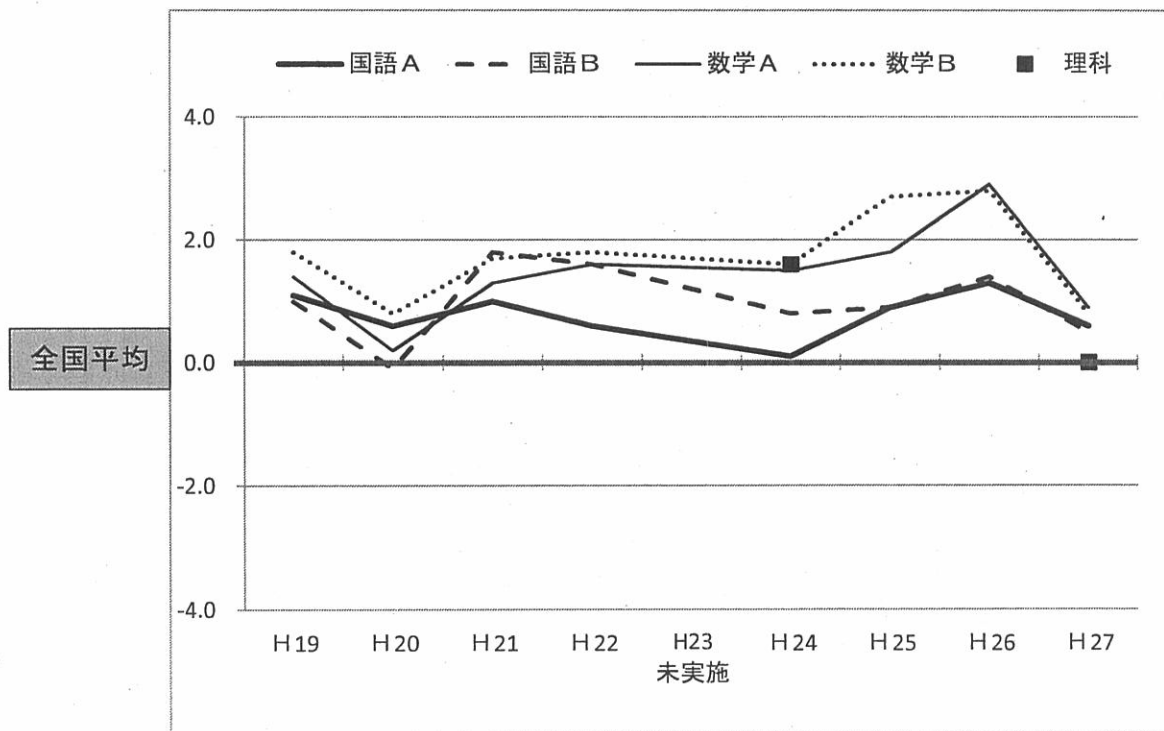
	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)		
	山口県	全 国	山口県	全 国	全国との比較
国語A	25.2/33	25.0/33	76.4	75.8	+0.6
国語B	6.0/9	5.9/9	66.3	65.8	+0.5
数学A	23.5/36	23.2/36	65.3	64.4	+0.9
数学B	6.4/15	6.2/15	42.4	41.6	+0.8
理 科	13.3/25	13.3/25	53.0	53.0	±0

イ 全国の平均正答率との経年変化

【小学校】



【中学校】



〔参考〕過去の調査での平均正答数及び平均正答率

【平成26年度】

小学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.0/15	10.9/15	73.6	72.9
国語B	5.8/10	5.5/10	57.8	55.5
算数A	13.5/17	13.3/17	79.5	78.1
算数B	7.6/13	7.6/13	58.6	58.2

中学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.8/32	25.4/32	80.7	79.4
国語B	4.7/9	4.6/9	52.4	51.0
数学A	25.3/36	24.3/36	70.3	67.4
数学B	9.4/15	9.0/15	62.6	59.8

【平成25年度】

小学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.6/18	11.3/18	64.3	62.7
国語B	5.0/10	4.9/10	50.2	49.4
算数A	14.8/19	14.7/19	77.9	77.2
算数B	7.8/13	7.6/13	59.9	58.4

中学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.7/32	24.4/32	77.3	76.4
国語B	6.1/9	6.1/9	68.3	67.4
数学A	23.6/36	22.9/36	65.5	63.7
数学B	7.1/16	6.6/16	44.2	41.5

【平成24年度】

小学校	平均正答数（問）		平均正答率（95%信頼区間）（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	14.0/17	13.9/17	82.3 (81.7~82.9)	81.6 (81.4~81.7)
国語B	6.2/11	6.1/11	56.3 (55.3~57.4)	55.6 (55.4~55.8)
算数A	14.0/19	13.9/19	73.5 (72.6~74.4)	73.3 (73.1~73.5)
算数B	7.5/13	7.7/13	58.0 (57.0~59.1)	58.9 (58.7~59.1)
理 科	14.7/24	14.6/24	61.2 (60.3~62.2)	60.9 (60.8~61.1)

中学校	平均正答数（問）		平均正答率（95%信頼区間）（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.1/32	24.0/32	75.2 (74.7~75.8)	75.1 (75.0~75.2)
国語B	5.8/9	5.7/9	64.1 (63.4~64.8)	63.3 (63.2~63.4)
数学A	22.9/36	22.4/36	63.6 (62.8~64.4)	62.1 (62.0~62.3)
数学B	7.6/15	7.4/15	50.9 (49.8~51.9)	49.3 (49.2~49.5)
理 科	13.7/26	13.3/26	52.6 (51.9~53.3)	51.0 (50.9~51.1)

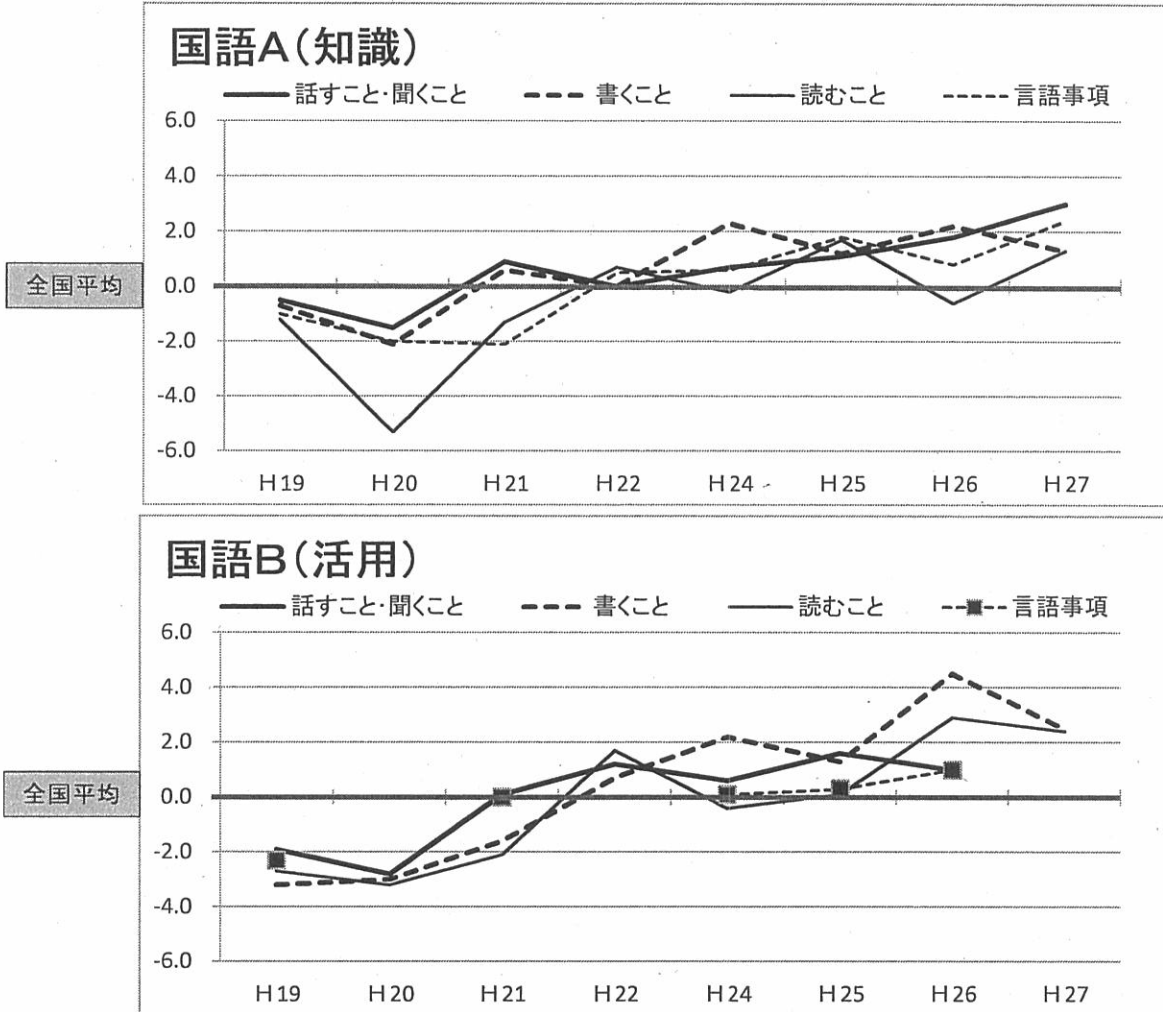
※ 平成24年度は理科を実施。

※ 平成24年度については、文部科学省は、抽出調査であることを踏まえ、「平均正答率（推計値）」と誤差を含めた幅をもった数値「平均正答率の95%信頼区間」を併せて公表している。

ウ 領域別平均正答率の全国との比較【小学校】

[国語]

国語「知識」に関する問題については、すべての領域で全国平均を上回っている。また、国語「活用」に関する問題については、すべての領域で全国平均を上回っているものの、全国平均との差が小さくなっている。



[国語A:主として「知識」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
話すこと・聞くこと	-0.5	-1.5	0.9	0.0	0.7	1.1	1.8	3.0
書くこと	-0.7	-2.1	0.6	0.0	2.3	1.2	2.2	1.3
読むこと	-1.2	-5.3	-1.3	0.7	-0.2	1.7	-0.6	1.3
言語事項	-1.0	-2.0	-2.1	0.5	0.6	1.8	0.8	2.4

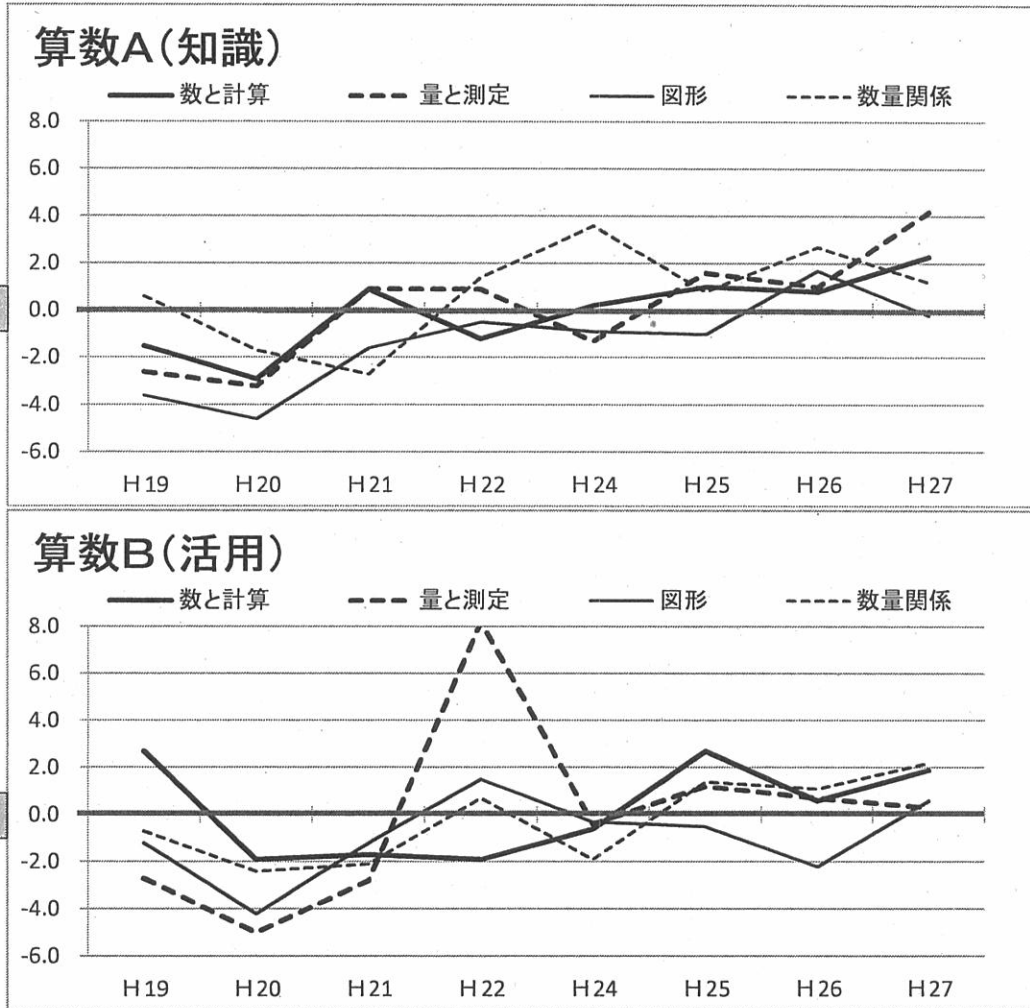
[国語B:主として「活用」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
話すこと・聞くこと	-1.9	-2.8	0.1	1.2	0.6	1.6	1.0	2.4
書くこと	-3.2	-3.0	-1.6	0.7	2.2	1.3	4.5	2.5
読むこと	-2.7	-3.2	-2.1	1.7	-0.4	0.1	2.9	2.4
言語事項	-2.3	0.0	0.0	0.1	0.3	1.0	1.0	2.4

※ 言語事項とは、古典、文法、漢字・ローマ字、書写等に関する内容。平成24年度からは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」。

[算数]

算数「知識」に関する問題については、「図形」以外の領域で全国平均を上回っている。また、算数「活用」に関する問題については、初めてすべての領域で全国平均を上回った。



[算数A:主として「知識」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
数と計算	-1.5	-2.9	0.9	-1.2	0.2	1.0	0.8	2.3
量と測定	-2.6	-3.2	0.9	0.9	-1.3	1.6	1.0	4.2
図形	-3.6	-4.6	-1.6	-0.5	-0.9	-1.0	1.7	-0.2
数量関係	0.6	-1.7	-2.7	1.4	3.6	0.8	2.7	1.2

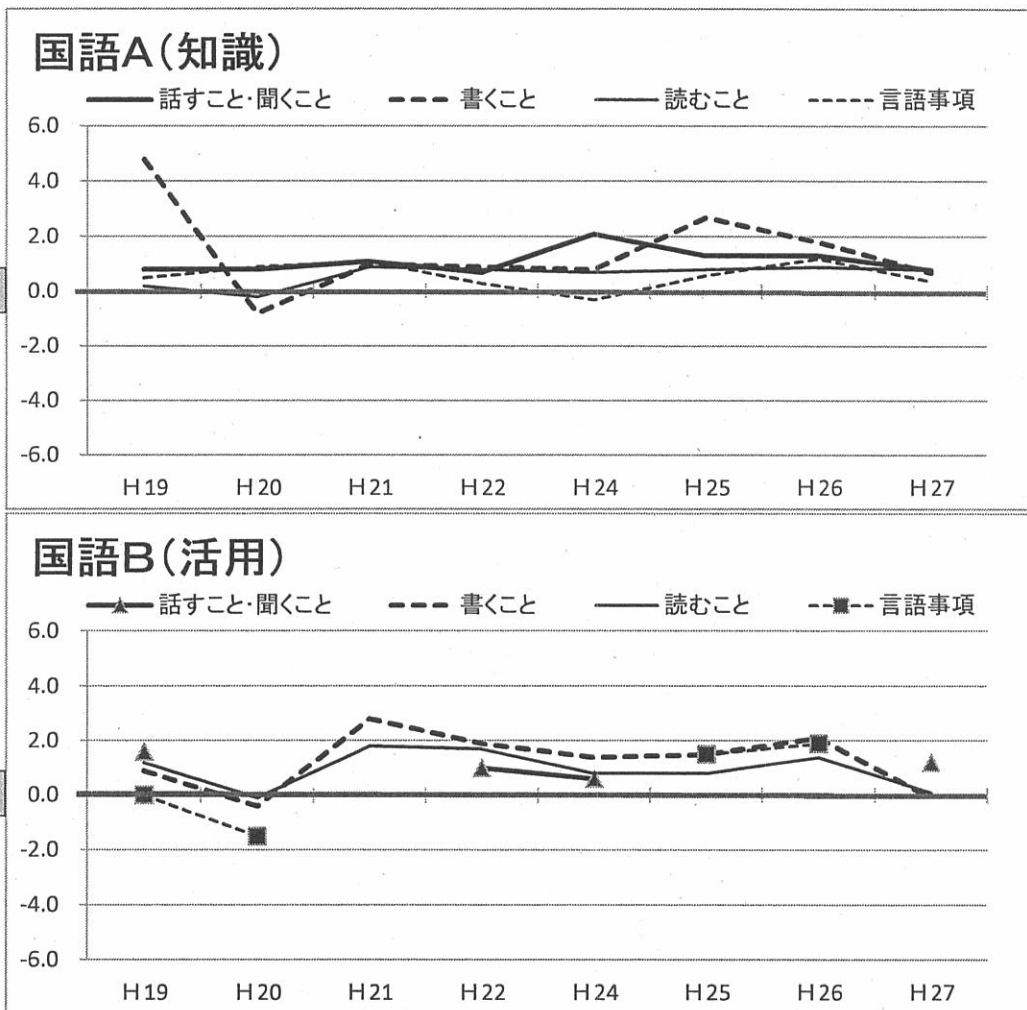
[算数B:主として「活用」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
数と計算	2.7	-1.9	-1.7	-1.9	-0.6	2.7	0.6	1.9
量と測定	-2.7	-5.0	-2.8	8.2	-0.4	1.2	0.7	0.3
図形	-1.2	-4.2	-1.2	1.5	-0.3	-0.5	-2.2	0.6
数量関係	-0.7	-2.4	-2.1	0.7	-1.9	1.4	1.1	2.2

エ 領域別平均正答率の全国との比較【中学校】

[国語]

国語「知識」に関する問題については、すべての領域で全国平均を上回っているものの、全国平均との差が小さくなっている。また、国語「活用」に関する問題については、「書くこと」以外の領域で全国平均を上回っている。



[国語A:主として「知識」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
話すこと・聞くこと	0.8	0.8	1.1	0.7	2.1	1.3	1.3	0.8
書くこと	4.8	-0.8	1.0	0.9	0.8	2.7	1.8	0.7
読むこと	0.2	-0.2	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9	0.8
言語事項	0.5	0.9	1.1	0.3	-0.3	0.6	1.2	0.4

[国語B:主として「活用」に関する問題]

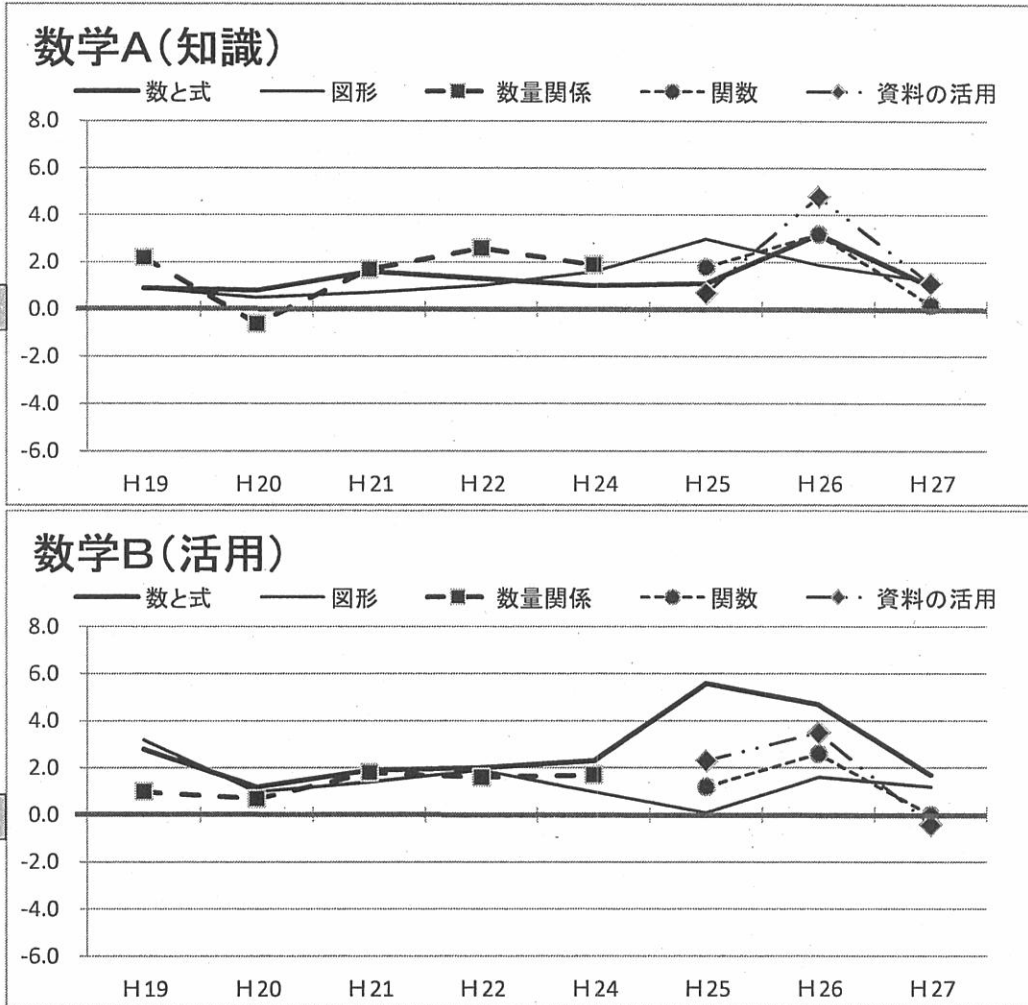
領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
話すこと・聞くこと	1.6	/	/	1.0	0.6	/	/	1.2
書くこと	0.9	-0.4	2.8	1.9	1.4	1.5	2.1	-0.1
読むこと	1.2	-0.1	1.8	1.7	0.8	0.8	1.4	0.1
言語事項	0.0	-1.5	/	/	/	1.5	1.9	/

※ 言語事項とは、古典、文法、漢字・ローマ字、書写等に関する内容。平成25年度からは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」。



[数学]

数学「知識」に関する問題については、すべての領域で全国平均を上回っているものの、全国平均との差が小さくなっている。また、数学「活用」に関する問題については、「数と式」「図形」で全国平均を上回っているものの、すべての領域で全国平均との差が小さくなっている。



[数学A:主として「知識」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
数と式	0.9	0.8	1.6	1.3	1.0	1.1	3.2	1.0
図形	0.9	0.5	0.7	1.0	1.6	3.0	1.9	1.2
数量関係	2.2	-0.6	1.7	2.6	1.9	1.8	3.2	0.2
関数						0.7	4.8	1.1
資料の活用								

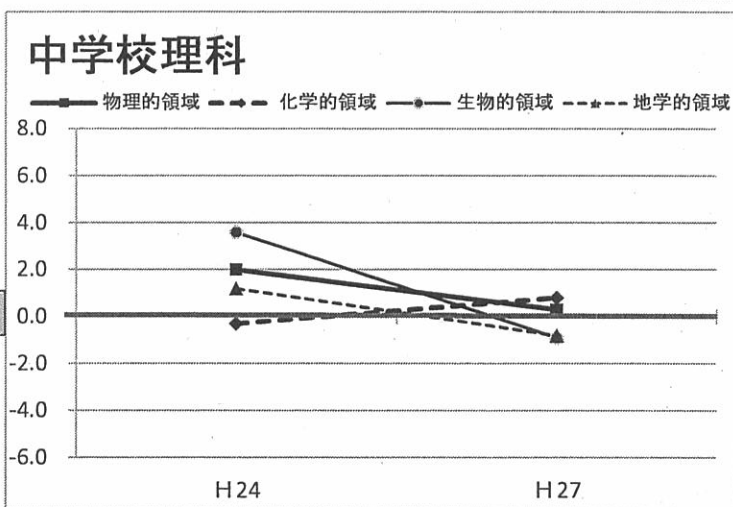
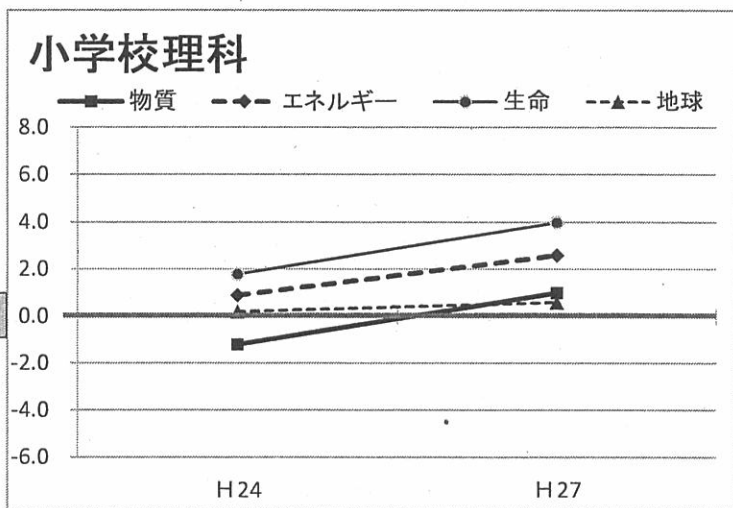
[数学B:主として「活用」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
数と式	2.8	1.2	1.9	2.0	2.3	5.6	4.7	1.7
図形	3.2	1.0	1.4	1.9	1.0	0.1	1.6	1.2
数量関係	1.0	0.7	1.8	1.6	1.7	1.2	2.6	±0
関数						2.3	3.5	-0.4
資料の活用								

※「数量関係」の領域は、平成25年度から「関数」と「資料の活用」の2領域に分けられている。

オ 領域別平均正答率の全国との比較【小・中学校】  
[理科]

小学校理科においては、初めてすべての領域で全国平均を上回り、平成24年度と比べて伸びが見られる。中学校理科においては、「物理的領域」「化学的領域」で全国平均を上回っているものの、「物理的領域」では、全国平均との差が小さくなっている。



[小学校理科]

領域	H24	H27
物質	-1.2	1.0
エネルギー	0.9	2.6
生命	1.8	4.0
地球	0.2	0.6

[中学校理科]

領域	H24	H27
物理的領域	2.0	0.3
化学的領域	-0.3	0.8
生物的領域	3.6	-0.9
地学的領域	1.2	-0.8

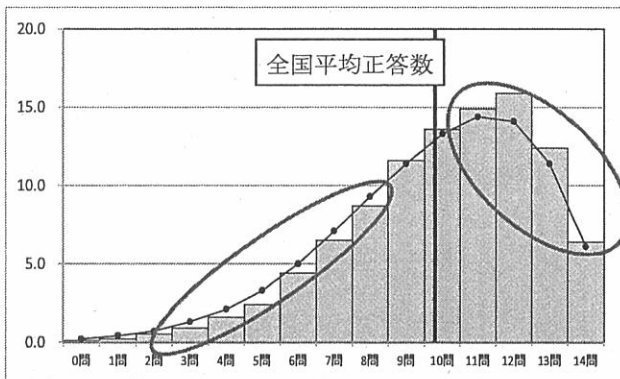
## カ 正答数ごとの分布

### 【小学校 国語】

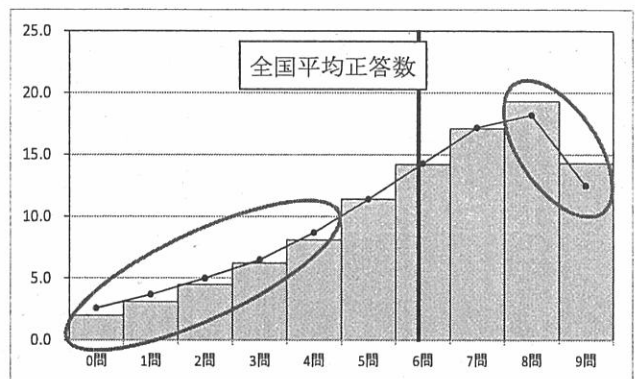
- 「知識」に関する問題については、全国と比べ正答数の多い児童の割合が高く、正答数の少ない児童の割合が低い。
- 「活用」に関する問題については、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや高く、正答数の少ない児童の割合がやや低い。

平成27年度

【国語A】（知識）

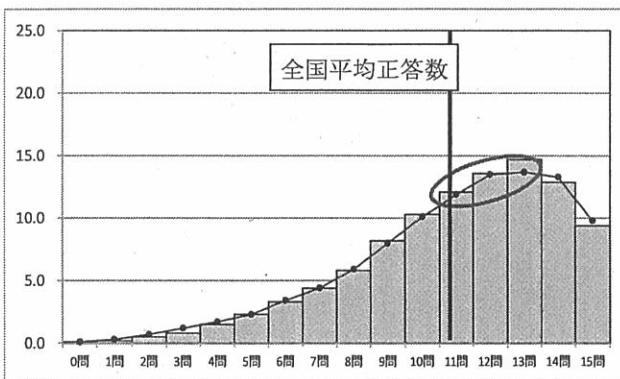


【国語B】（活用）

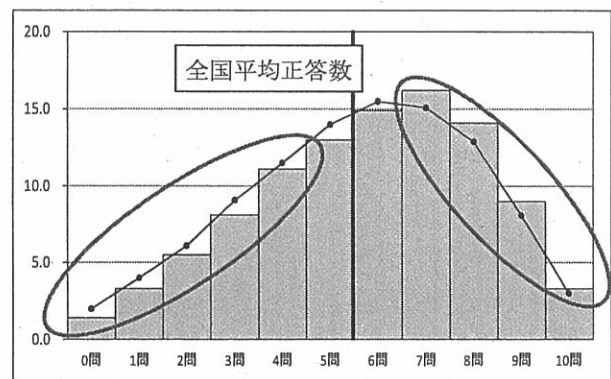


(参考) 平成26年度

【国語A】（知識）

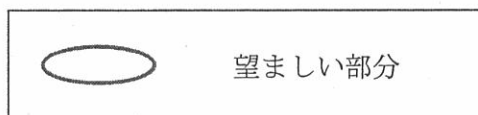


【国語B】（活用）



〔グラフについて〕

横軸は児童が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童の割合（％）を示している。

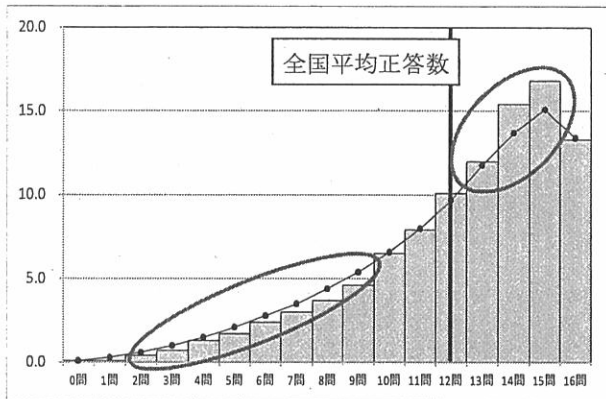


【小学校 算数】

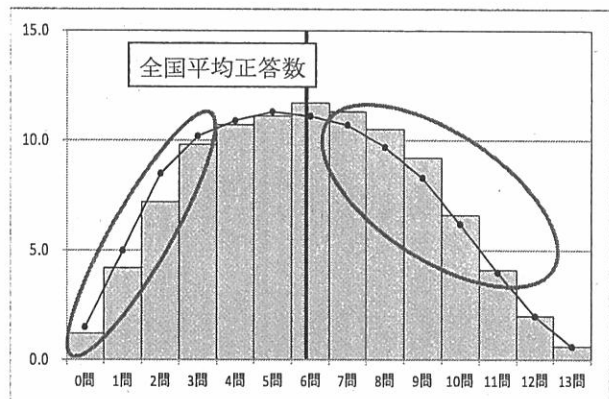
- 「知識」に関する問題については、全国と比べ正答数の多い児童の割合が高く、正答数の少ない児童の割合が低い。
- 「活用」に関する問題については、全国と比べ正答数の多い児童の割合が高く、正答数の少ない児童の割合が低い。

平成27年度

〔算数A〕（知識）

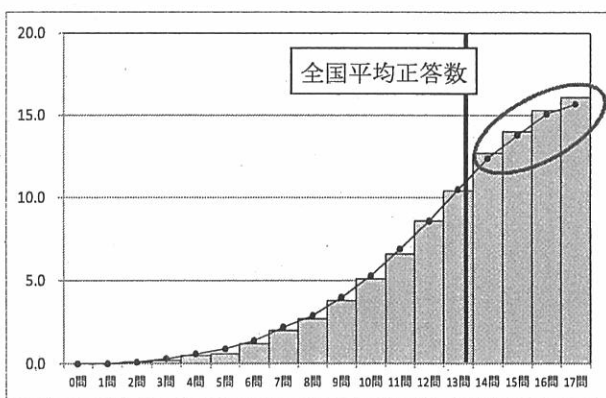


〔算数B〕（活用）

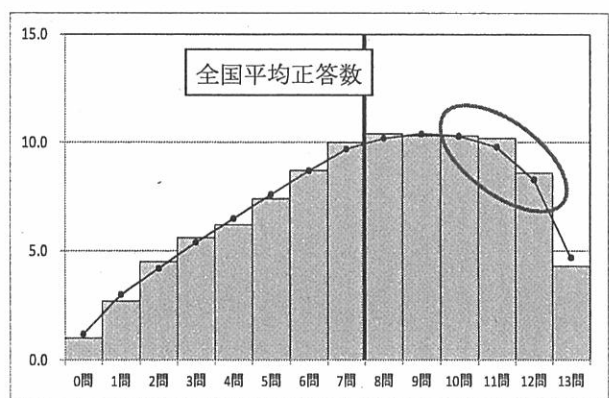


(参考) 平成26年度

〔算数A〕（知識）

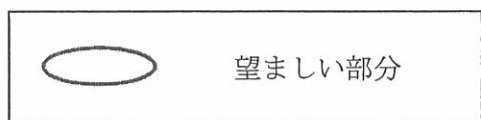


〔算数B〕（活用）



〔グラフについて〕

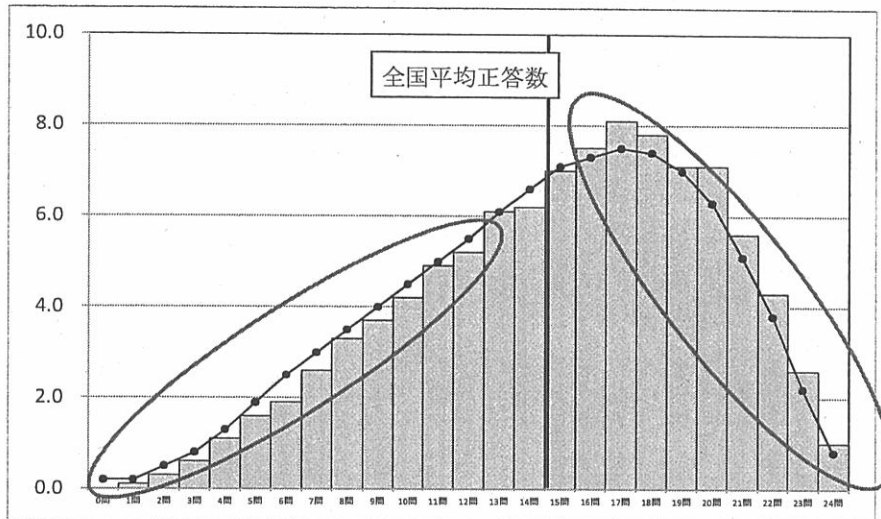
横軸は児童が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童の割合（％）を示している。



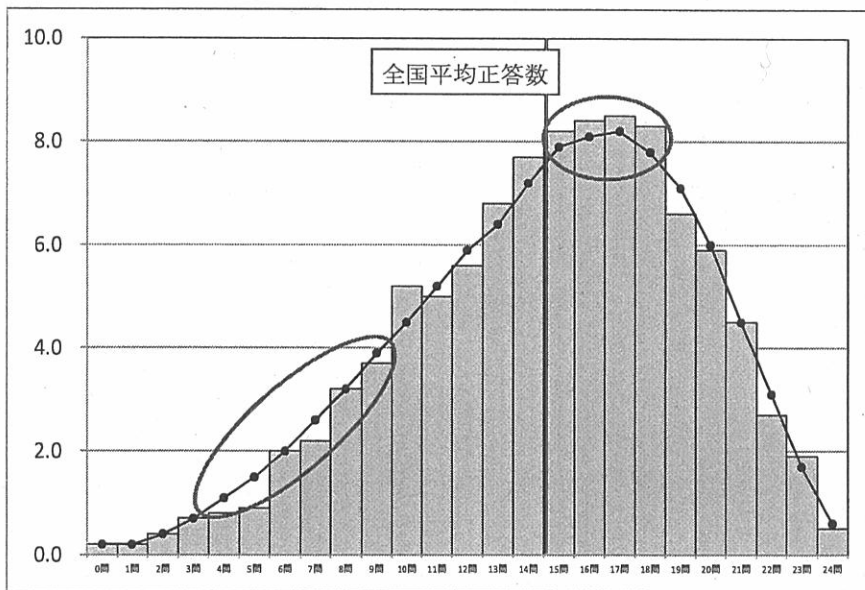
【小学校 理科】

- 全国と比べ正答数の多い児童の割合が高く、正答数の少ない児童の割合が低い。

平成27年度





(参考) 平成24年度



〔グラフについて〕

横軸は児童が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童の割合（％）を示している。

 望ましい部分

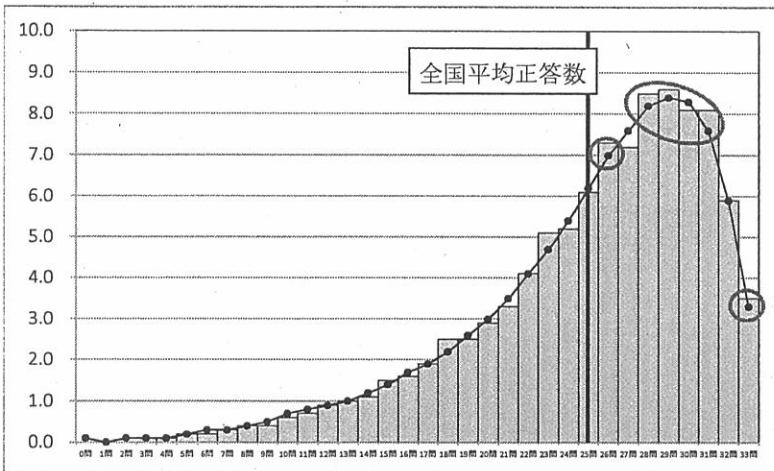
凡例  山口県  
 全国

【中学校 国語】

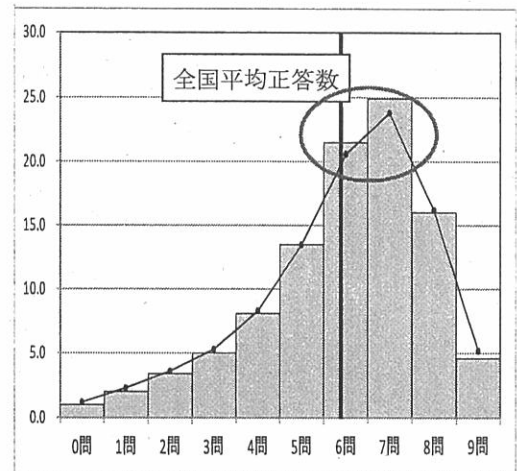
- 「知識」に関する問題については、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高い。
- 「活用」に関する問題については、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高い。

平成27年度

〔国語A〕（知識）

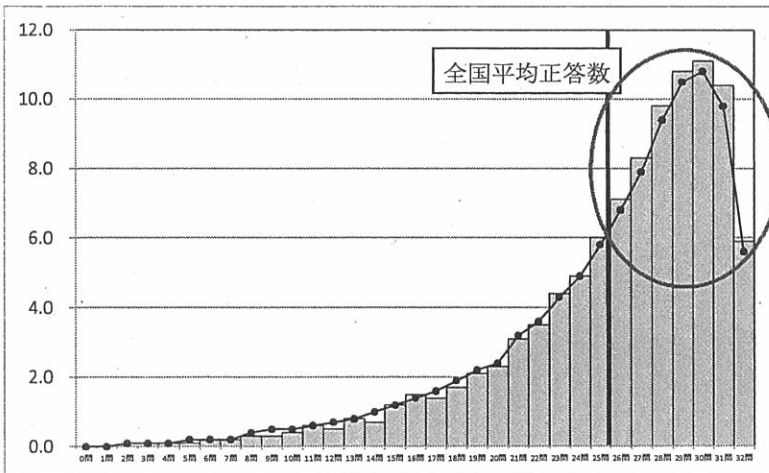


〔国語B〕（活用）

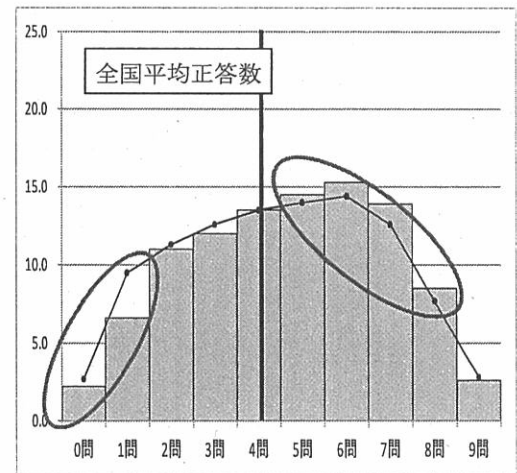


(参考) 平成26年度

〔国語A〕（知識）

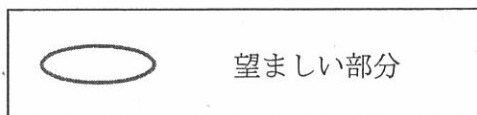


〔国語B〕（活用）



〔グラフについて〕

横軸は生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの生徒の割合（％）を示している。



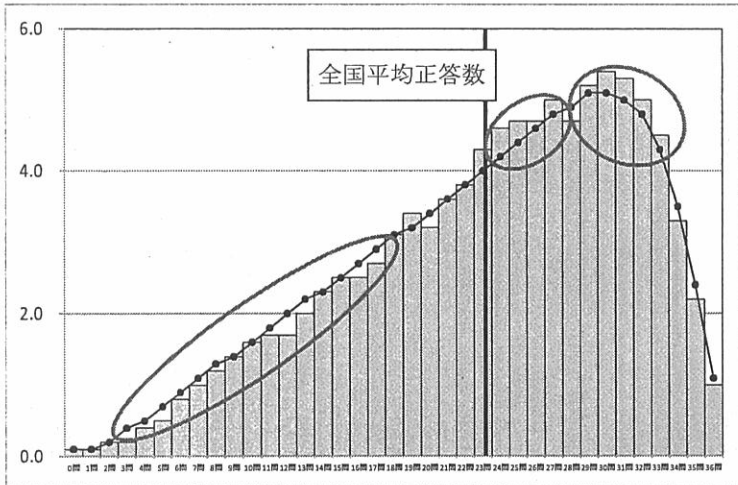


【中学校 数学】

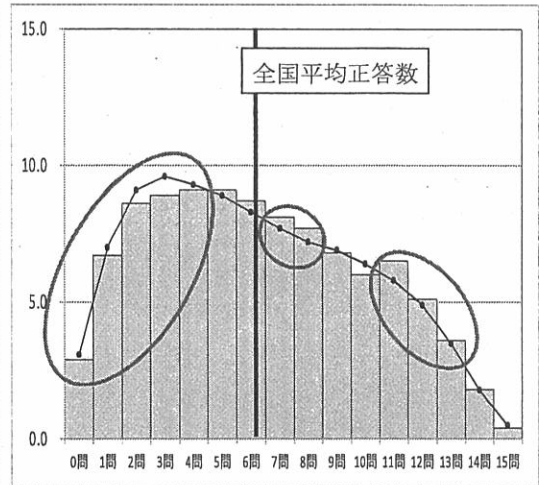
- 「知識」に関する問題については、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高く、正答数の少ない生徒の割合がやや低い。
- 「活用」に関する問題については、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高く、正答数の少ない生徒の割合がやや低い。

平成27年度

〔数学A〕（知識）

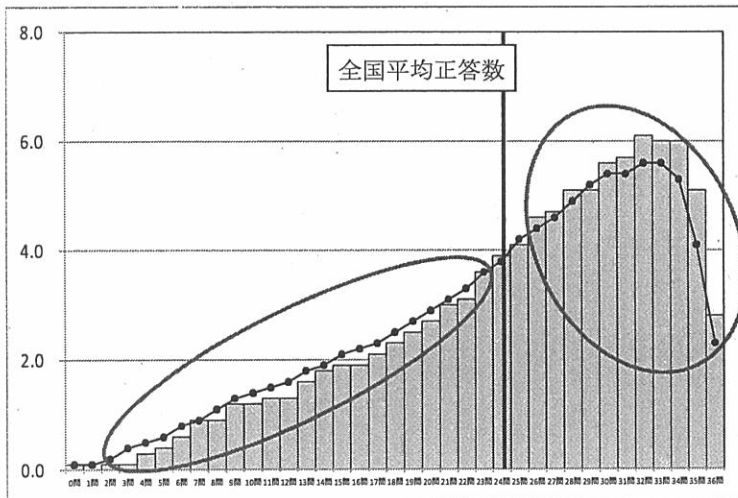


〔数学B〕（活用）

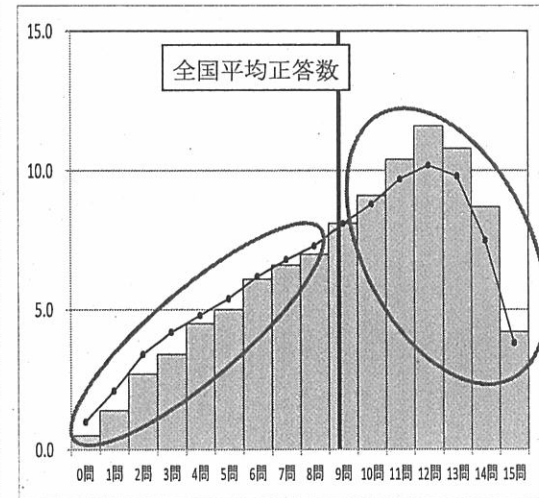


(参考) 平成26年度

〔数学A〕（知識）

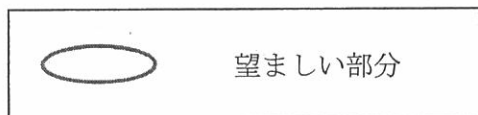


〔数学B〕（活用）



〔グラフについて〕

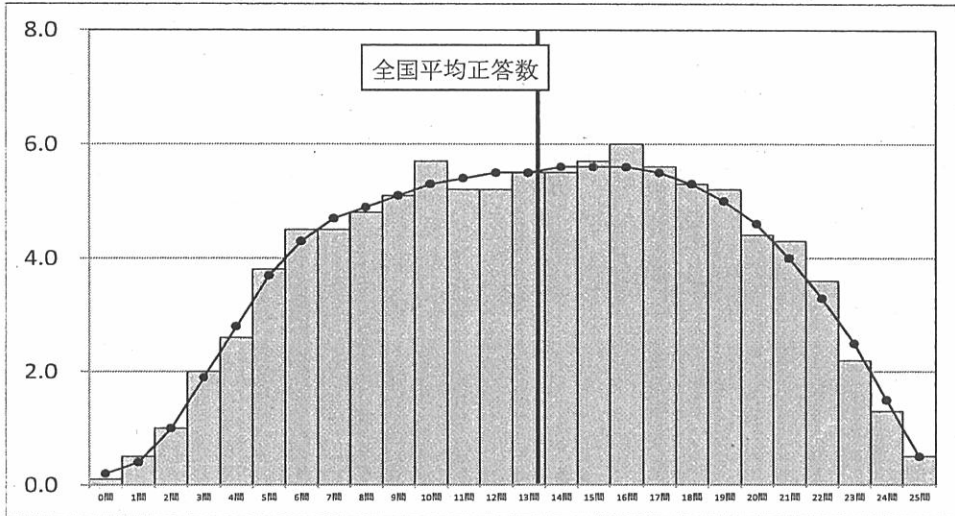
横軸は生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの生徒の割合（％）を示している。



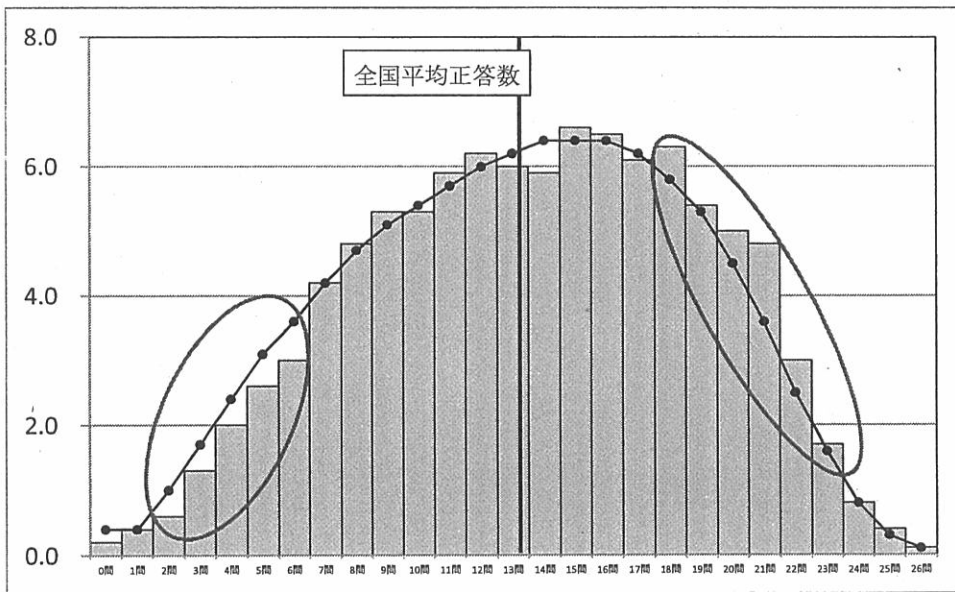
【中学校 理科】

- ほぼ全国と同様の分布状況にある。

平成27年度



(参考) 平成24年度



〔グラフについて〕

横軸は生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの生徒の割合 (%) を示している。

○ 望ましい部分

凡例  山口県  
 全国



## キ 各教科の特徴

### 【小学校国語】

国語Aについては、平均正答率が72.1%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。国語Bについては、平均正答率が67.5%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

#### ○相当数の児童ができている点

- (A) 第5学年までに学習した漢字を読むこと (P17)
- (A) 説明の文章の書き方の工夫を捉えること (P17)

#### ●課題のある点

- (A) コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜くこと (P18)
- (B) 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと (P20)

### 【小学校算数】

算数Aについては、平均正答率が77.1%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。算数Bについては、平均正答率が46.4%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

#### ○相当数の児童ができている点

- (A) 整数や分数の四則計算をすること (P22)
- (B) 平行四辺形の性質を基に平行四辺形を構成すること (P22)

#### ●課題のある点

- (A) 図形の性質の根拠として、円の性質を用いること (P24)
- (B) 示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めること (P25)

### 【小学校理科】

理科については、平均正答率が62.7%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着と活用に課題が見られる。

#### ○相当数の児童ができている点

- ・ メダカの雌雄を見分ける方法を理解すること (P29)
- ・ 打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析すること (P29)

#### ●課題のある点

- ・ 顕微鏡の適切な操作方法を身に付けること (P30)
- ・ 析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述すること (P31)

## 【中学校国語】

国語Aについては、平均正答率が76.4%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。国語Bについては、平均正答率が66.3%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

### ○相当数の生徒ができている点

- (A) 相手の反応を踏まえて話すこと (P33)
- (A) 文章から適切な情報を得て、考えをまとめること (P33)

### ●課題のある点

- (A) 品詞の類別について理解すること (P34)
- (B) 複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと (P35)

## 【中学校数学】

数学Aについては、平均正答率が65.3%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着に課題が見られる。数学Bについては、平均正答率が42.4%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

### ○相当数の生徒ができている点

- (A) 計算のきまりにしたがって、加減乗除を含む正の数と負の数の計算をすること (P39)
- (A) 与えられた投影図から空間図形を読み取ること (P39)

### ●課題のある点

- (A) 数量の関係を文字式に表すこと (P40)
- (B) 事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて証明すること (P42)

## 【中学校理科】

理科については、平均正答率が全国平均と同じ53.0%であるものの、知識・技能の定着と活用に課題が見られる。

### ○相当数の生徒ができている点

- ・ 塩化ナトリウムを化学式で表すこと (P44)

### ●課題のある点

- ・ 他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明すること (P45)
- ・ 音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画すること (P47)